

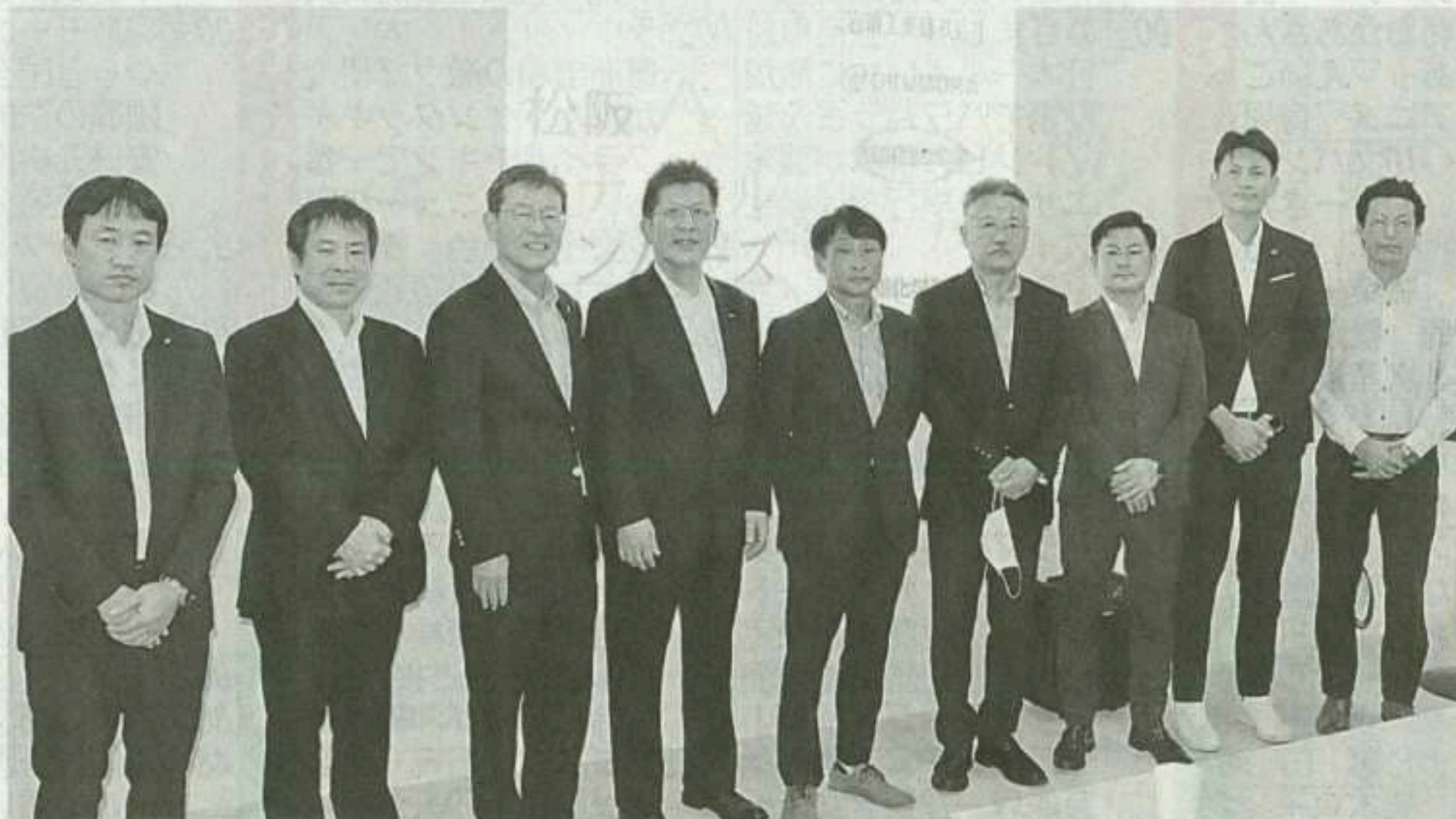
# 医療機器分野で異業種連携

## 松阪の6社、チーム発足

### 課題解決、共同開発目指す

【松阪】医療機器分野に新規参入した松阪市内の異業種六社は八日、同市大口町の三重化学工業で企業間連携・共創チーム「松阪メディカルメンバーズ(MMM)」の発足式を開いた。

(奥山隆也)



松阪メディカルメンバーズの発足式＝松阪市大口町の三重化学工業ミエラボで

六社は三重化学工業の他、岩崎工業▽オクムラ▽サカキシ&Eワイズ▽橋本電子工業▽三重金属工業。いずれも県が進める「みえメディカルバレープロジェクト」に参加している。

各社とも本業の技術を元にヘルスケア産業に参入したが、中小企業で少人数▽医療市場の情報確保▽医療現場のニーズに合わせた商品開発▽商品化に向けた検証▽販路開拓―などで課題を抱えている。MMMでは各社が人材、技術、情報面で交流し問題解決を図り、共同開発も目指す。

リーダーに就いた岩崎工業の家根谷武常務は「六社は全く異なるコア技術を持つ。近所のものづくり企業同士が連携することで、各社の抱える課題解決、発展につながる」と信じている」と抱負を語った。

来賓の竹上真人市長は

「市の企業支援の二大柱は医療健康産業と宇宙航空産業。成長産業と捉えている。全力で支援していく」とエールを送った。

中部経済産業局の森下優彰ヘルスケア産業室長は

「業種を超えた自発的な枠組み。大変うれしく思う」と期待。県医療保健部の中村昌司薬務課長は「ヘルスケア産業にとって画期的」と知事あいさつを代読して激励した。